

科目名	音楽科教育法Ⅱ B	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	小泉 孝	単位	2	年次	2

＝授業科目の目標＝

音楽科の授業についての考え方を自分なりに確立し、模擬授業を通して授業の在り方や生徒への対応を実践的に身に付ける。

また、模擬授業に参加し、検討し合うことにより、授業の在り方についての考えを確立する。

＝履修の条件と学習の方法＝

履修条件：教員を目指す意志を強く持っていること、ピアノ演奏についての抵抗がないこと、各自の専門をゆとりをもって履修できること、音楽科教育法Ⅰを受講していること

学習の方法：音楽科教育法Ⅰで作成した指導案をもとに模擬授業に取り組む。授業についての検討

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。模擬授業計画
- 2回 模擬授業と授業検討1
- 3回 模擬授業と授業検討2
- 4回 模擬授業と授業検討3
- 5回 模擬授業と授業検討4、歌唱指導のポイント
- 6回 模擬授業と授業検討5
- 7回 模擬授業と授業検討6
- 8回 模擬授業と授業検討7、器楽指導のポイント
- 9回 模擬授業と授業検討8
- 10回 模擬授業と授業検討9
- 11回 模擬授業と授業検討10、創作指導のポイント
- 12回 模擬授業と授業検討11
- 13回 模擬授業と授業検討12
- 14回 模擬授業と授業検討13、鑑賞指導のポイント
- 15回 音楽科教育法Ⅱのまとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

模擬授業における指導の様子、ピアノ演奏、レポート、講義への参加の状況（出席回数及びディスカッションにおける発言など）を総合的に判断する。

＝テキスト（必携）＝

《No.1》

書籍名：中学校学習指導要領解説 音楽編

著者名：文部科学省

出版社：教育芸術社

販売先：教育芸術社

備考：音楽科教育法Ⅰから継続使用

《No. 2》

書籍名：中学生の音楽 1, 2・3 上、2・3 下、器楽

著者名：小原光一ほか 13 名

出版社：教育芸術社

販売先：教育芸術社

備考：音楽科教育法 I から継続使用

《No. 3》

書籍名：中学音楽 音楽のおくりもの 1, 2・3 上、2・3 下、

中学器楽 音楽のおくりもの

著者名：新美徳英ほか 13 名

出版社：教育出版

販売先：教育出版

備考：音楽科教育法 I から継続使用